※令和４年度以降入学生用

学校番号	３００１

令和５年度　情報科

教科	情報	科目	情報Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　情報Ⅰ　（数研出版）						
副教材等	高等学校　情報Ⅰ　サポートノート　（数研出版） 30 時間でマスター　Office2021（Windows11 対応）　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・コンピュータやスマートフォンが普及し、日々の生活の中でそれらを便利に利用している人も多いことでしょう。しかし、利用方法によってはトラブルに巻き込まれたり、トラブルを引き起こしてしまったりすることがあります。情報社会を生きるうえで必要となる知識や仕組みを体系的に学び、将来、社会で活躍するための力を身につけていきましょう。
・授業では文書処理ソフトウェア、表計算ソフトウェア、プレゼンテーションソフトウェアなどを使用することにより、情報活用能力を身につけていきます。自分の意見や考えを相手に分かりやすく伝えられるよう、意識して取り組みましょう。
・論理的思考力、問題を解決する力、創造力を身につけるため、プログラミング実習を行います。実習の際、時にはうまく前に進まないこともあるでしょう。問題点の修正、改善を何度も繰り返し、少しでも前に進めるよう、粘り強く取り組むことが大切です。

２　学習の到達目標

・情報や情報技術を問題の発見と解決のために適切かつ効果的に活用するための知識と技能を習得する。
・情報に関する科学的な見方・考え方を習得する。
・情報社会における自分の役割を認識し、情報社会に主体的に参画するための資質・能力を養う

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	情報機器やデータを適切に活用する知識や技能を身につけるとともに、情報社会と私たちとの関わりについて理解している。	情報技術のしくみを科学的にとらえ、問題の効果的な解決策を考え、情報や情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会が及ぼす影響や課題に関心を持ち、問題解決のために主体的に情報や情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1	情報社会の問題解決	情報とメディア	a:情報やメディアの特性を理解できる。 b:メディアの特性について、メリット、デメリットが判断できる。 c:情報が持つ意味や働きについて関心を持ち、積極的に学習に取り組もうとしている。	プリントやワークシート、実習の成果物、生徒観察、定期考査の結果	プリントやワークシート、実習の成果物	プリントやワークシート、振り返りシート、相互評価シート、生徒観察、実習の成果物
		情報社会における法とセキュリティ	a:著作権や個人情報、プライバシーを保護する法律の意義や内容について理解している。 b:情報社会における個人の責任について考察している。 c:情報モラルや知的財産権の保護について関心を持ち、法律を守ろうとしている。			
		情報技術が社会に及ぼす影響	a:情報技術の発展が社会にどのような変化をもたらすのか理解している。 b:情報技術の発展が社会に及ぼす影響について、良い面と悪い面の両面から考え、判断している。 c:情報技術の発展が人に及ぼす影響や問題点について関心を持ち、変化に対応しようとしている。			
	コミュニケーションと情報デザイン	情報デザイン 文書処理ソフトウェアの操作	a:情報デザインの目的を理解できる。 b:情報発信の目的に応じて適切なメディアで発信することができる。 c:情報機器を活用して情報を統合し、表現しようとしている。			
2		情報のデジタル表現	a:静止画、音声、動画など、情報のデジタル化のしくみについて理解している。 b:情報をデジタル化することのメリットやデメリットを考えることができる。			

※令和４年度以降入学生用

		コミュニケーション手段の発展と特徴	a:情報通信技術の進展について理解している。 b:情報通信技術の進展による情報発信の変化について考えることができる。 c:コミュニケーション手段として通信が発達してきた歴史に関心を持っている。			
		プレゼンテーション プレゼンテーションソフトウェアの操作	a:プレゼンテーションの実施や資料作成のための知識を身につけている。 b:プレゼンテーションの目的や対象者に応じて、プレゼンテーションを考えることができる。 c:プレゼンテーション資料作成に関心を持ち、積極的に取り組もうとしている。			
	コンピュータとプログラミング	コンピュータのしくみ	a：コンピュータの基本構成とその働きについて理解している。 c：コンピュータの本体や周辺機器に関心を持ち、積極的に活用しようとしている。			
		プログラミング	a:プログラムとアルゴリズムの関係を理解し、プログラムを作ることができる。 b:分岐構造と反復構造を含んだプログラムを作ることができる。 c:粘り強くプログラムを作ろうとしている。			
		モデル化とシミュレーション	a:モデル化とシミュレーションにおける注意点を理解できる。 b:モデル化の方法や、モデルの適切性を判断できる。			
3	情報通信ネットワークとデータの活用	ネットワークのしくみ	a:情報通信ネットワークで情報を伝達するためのしくみについて理解している。 b:情報通信ネットワークで通信するときの利点と欠点について考えている。 c:情報セキュリティを意識して通信しようとしている。			

※令和４年度以降入学生用

		データベース データの分析 表計算ソフトウェアの操作	a:データベースの利点を理解できる。 b:目的に応じたデータ分析の方法を考えている。 c:データ分析の結果を踏まえて、分析の改善をしようとしている。			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度